

令和3年度 第1回岐阜市立図書館協議会 議事概要

日 時：令和3年7月30日（金）午後2時00分～3時30分

場 所：みんなの森 ぎふメディアコスモス 第一会議室

出席者：【会場7名】 門屋伸子委員、アンドリュー・デュアー委員（会長）、平賀研也委員、米原木ノ実委員、井戸一元委員、田中一慶委員、千葉佐代子委員
【オンライン5名】 林恵哲委員、久津輪雅委員、嶋田学委員、蒲勇介委員、山田智直委員
【欠席3名】 堀井美紀委員、高橋綾子委員（副会長）、中村正信委員
（事務局） 吉成総合プロデューサー、川合館長、野々山係長、土谷係長、川瀬係長、梅村係長、中村係長

傍聴者：なし

議事概要：

■報告や事務局提案に対する委員からの意見

（1）令和3年度事業計画について
<ul style="list-style-type: none">・岐阜市立図書館の正規職員率は15.5%、司書は8.5%と、県庁所在地と比較すると低いレベルにある。・「読書バリアフリー法」のもと、岐阜市も開かれた図書館として点字図書館と連携を密にし、推進していただきたい。・シビックプライドは、主体的に社会参画していく人を育てていくことであり、子ども司書、子どもラジオなどと有機的につなげて展開するとよい。
（2）第3次岐阜市子どもの読書活動推進計画策定部会の報告について
<ul style="list-style-type: none">・図書館の活用の仕方を、先生や司書が子どもたちに教える機会があればよい。本を勧めるだけではなく、一つ上のステップに行くことが大事なのではないか。・子どもたちのネット環境や電子書籍に対する要望も高い。多様な可能性を持ったメディアも出てきている中で、次のステップを計画に盛り込む時期ではないか。・コロナ禍において一緒に知る、学ぶなどのリアルなコミュニケーションが公共の場として大きな意味を持つ。・学校図書館が地域に開かれていないという現状があり、学校図書館の意義について話し合いの場があるとよい。
（3）多文化共生に関する取り組みについて
<ul style="list-style-type: none">・実際に住んでいる外国人にどのようなニーズがあるのかを聞き取りして、一緒に作っていくことが大事。・多文化共生においては、資料の選定や寄贈、読み聞かせなどボランティアの活用が望ましい。外国人コミュニティで図書館の使い方を広めてくれることを期待。・多文化交流プラザと連携し、司書が本の紹介をすることも利用者を広げる行動につながる。・外国人コミュニティとの接触をどう図るか、多様なチャンネルの中で国々の文化に触れる機会を企画できればよい。